

技術日本語表現技法 (Technical Writing)

第1回 なぜ技術作文か

毎回の授業の即日課題

- 「小文宿題様式」を用いる。
- メモ欄に重要事項を、適宜、記載する。
- その概要を200字程度にまとめる。
- 提出: 情報処理センターのYドライブの「minagawa」フォルダ内「即日課題」の、課題提示日付のフォルダに、学籍番号-課題提示日付6桁数字.doc (ファイル名はすべて半角) というファイル名で保管する。
- G0818003-080925.doc

作文に関する教育体験

- 高校までの作文を考えよう。
- 文章が書けないことを怒られつづけた。
- 大学に入ってまた怒られる。
- これでよいのか？
- どうすれば良いかという方向性は示されてきたか？

二種類の文章

- 文章を大別すると、2種類に分かれる。
事実的な文章と文学的な文章
- 事実的な文章:
正確でわかりやすい文章→技術が必要
論文、評論、解説記事、新聞記事など
- 文学的な文章:
言葉の芸術→技術と才能が必要
詩歌、純文学、随筆、大衆小説など

技術を学ぶことは可能である

- 技術とは、物事を巧みに行う技
- 才能とは、素質によって得られる能力
- 才能と違い、技術は学習や伝達が可能なものである。
- 事実的文章は、技術の修得で書くことができる。

話すことと書くこと

- 話すように書けばよいか？
「きょうからぎじゅつさくぶんについてこうぎおしますこうぎのたんとうしゃわたしですからひょうかするけんげんわたしにあたえられています。みなさんがこうぎおしたいというのわかってです。しかしたんとうです。すのわやめてくださいませんか」
- 「今日から、技術作文について講義をします。講義の担当者は私ですから、評価する権限は私に与えられています。皆さんが“抗議をしたい！”と言うのは勝手です。しかし、短刀で刺すのはやめてくださいませんか？」

会話のできる人は書けるか

- アメリカへ行けば、乞食でも英語を話す。
- 3年もひとつの社会で生活すれば、会話は達者になる。
- ところが、会話ができる人がすべて語学が達者で、正確な文章を書けるか？
- 日本人だから、日本語の作文を当然できると考えやすいが、本当か？

「私たちは日本語に慣れきっている。

幼い時から、私たちは日本語を聞き、日本語を話し、日本語を読み、日本語で考えてきた。私たちにとって、日本語は空気のようなもので、日本語が上手とか下手というのさえ滑稽なほど、私たちは日本語に慣れ、日本語というものを意識していない。これは当たり前のことである。しかし、**日本語で文章を書く時は、この日本語への慣れを捨てなければいけない。・・・(中略)。。。文章を書くときには、日本語を外国語として取り扱わなければいけない。**」(清水幾太郎:論文の書き方、岩波文庫)

学生さんたちが辿った道


- なんと文章が書けないことかと先生方に怒られつづける。
- 4年生の卒論で数十ページの論文をはじめて執筆することになって、卒論の指導教授にその日本語と取っ組み合わせることになる。
- 技術を修得しないので、多大な時間と労力を使っても、能力はなかなか向上しない。
- 就職試験ではまともに文章も書けないのかとあきれられて、見事不合格。
- 武蔵工大ではどういう教育をしているのか、あるいは、今の大学生ときたら、という言葉を受頂戴しつづける。

これからの学生さんが辿る道

- 大学初年度に、文章の書き方の技術を修得する。
- まともな文章が少し増えてきたな、と先生方に褒められる。（豚もおだてりや木に登る？）
- 4年生の卒論で、指導教授は内容のみに集中して指導することができるので、研究実績が向上。
- 技術を修得しているので、経験で飛躍的に書く能力は向上し、修士課程では学会論文が採択に。
- 就職試験では、なかなか良い文章が書けると感心され、第一候補に見事合格。
- 武蔵工大の教育は大したものだと評判になり、今の大学生も捨てたものじゃないな、という言葉を受頂戴する。

教科書

- 木下是雄著「理科系の作文技術」
準備作業（立案）/文書の組立て/パラグラフ/文の構造と流れ/はっきり言い切る姿勢/事実と意見/その他
文を組み立てて正確でわかりやすい文書を作る技術が中心
- 本多勝一著「日本語の作文技術」：修飾する側とされる側/修飾の順序/句読点の打ち方/漢字とカナの心理/助詞の使い方/段落/その他
正確でわかりやすい文を作る技術が中心



若き挑戦者たち

国土を支えるシビルエンジニア

土木学会
教育企画・人材育成委員会
マネジメント教育小委員会
草柳俊二 高知工科大学
勝俣陸男 都市再生機構
嶋田善多 電源開発(株)
早川裕史 国土交通省・
国土技術政策総合研究所
皆川 勝 武蔵工大
山崎利文 高知工専